

ラーニング・サポーター ♪ 10月のつぶやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館2階 JWUラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つぶやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

<10月のつぶやき♪INDEX>

p.1 異郷の夏 @S.N.(英文学専攻博士課程後期3年) 10月20日 tweet!

p.1 みみずくからのお誘い @T.K.(相関文化論専攻博士課程後期3年) 10月19日 tweet!

つぶやき1 ♪ 異郷の夏

皆さんは、今年の夏休みをどのように過ごしましたか。私はというと、研究に必要な資料を求めて、イギリスへ行ってきました。そこで改めて実感したのは、見慣れた世界を離れて初めて見えてくるものがある、ということです。

今回の滞在でとりわけ印象深かったのは、ロンドンにある大英図書館の光景です。広々とした閲覧室では、ほとんどの席が埋まっていた。分厚い本をめくる人、パソコンに向かって黙々と作業に没頭する人。静寂に包まれた空間には、不思議な熱気が漂っていました。国籍も年齢も異なる人々が、一つの場所で知を追いかけている。その光景に、私も自然と背筋が伸び、自分自身の学び方を省みずにはいられませんでした。

滞在の後半にはロンドンを離れ、湖水地方へも調査に赴きました。列車が北へ進むにつれ、車内の英語は聞き慣れない響きを帯び、しまいには会話のほとんどが理解できないほどでした。普段耳にする発音との隔たりに驚きながら、独特の訛りや抑揚には、長い年月に育まれた暮らしの記憶が宿っているのだと感じました。

幸い、調査では求めていた資料に恵まれ、成果を収めることができました。ただ、滞在中ずっと驚かされたのは物価の高さです。円安も重なり、食事や買い物のたびにカードの利用額が膨らむのを見て肝を冷やし、世界における日本の立ち位置を改めて考えさせられました。それでも、現地の言葉や人々の姿に触れた経験は、何ものにも代え難いものです。

大学生活は慌ただしく過ぎていきます。冬休みもまだ先ですが、長い春休みには、少し遠くへ足を運んでみてほしいと思います。慣れ親しんだ日常を離れ、異郷に一人の「アウトサイダー」として身を置く。そこで感じる違和感や思いがけない発見が、これまで疑わずにいた常識を別の角度から見つめ直すきっかけとなるはずです。見知らぬ世界に触れ、自分自身と向き合う旅に、ぜひ出てみてください。皆さんにとっての異郷は、どこでしょうか。



文学研究科英文学専攻

Department of English



自己紹介
博士課程後期3年
非常勤講師(担当科目: 英文学、英語)

研究分野
イギリス文学
ロマン派詩人 William Wordsworth (1770-1850)

相談例
・語学の学習方法
・英語資格(TOEIC, IELTS、英検など)
・履修計画、レポートや卒業論文のサポート
・WordなどのOfficeソフトの基本操作
・大学院進学、院生生活、奨学金など

些細なことでもお気軽にお声をください。お待ちしております☆

つぶやき2 ♪ みみずくからのお誘い

秋が少しずつ深まり、夕方になると寒いくらいの冷え込みですね。皆様いかがお過ごしでしょうか。通学路を歩いていると、ハロウィンの飾り付けを目にするようになりました。日本でハロウィンが広まったのは、ここ50年ほどのことだそうです。すっかり10月の風物詩として親しまれています。

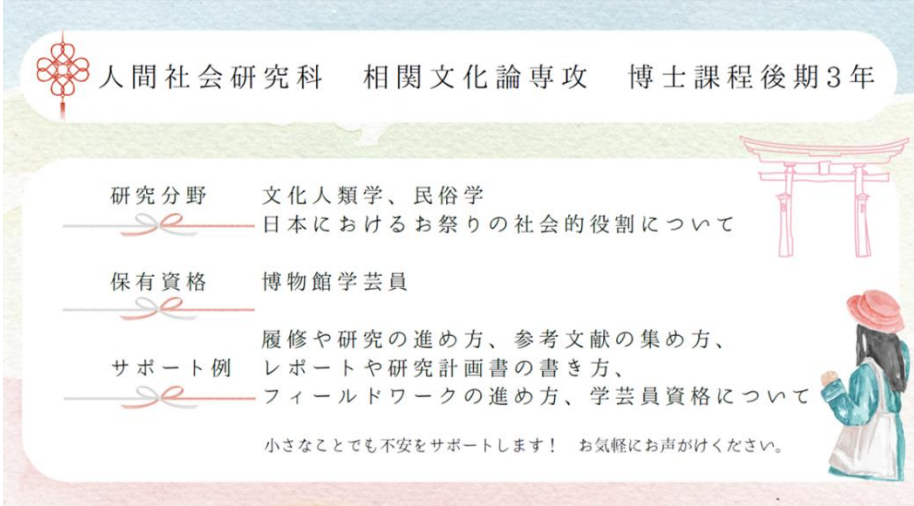
この時期、雑司ヶ谷の風物詩といえば、10月16日から18日に鬼子母神にて開催される「御会式」です。夕方から開催されるので、万灯を目にされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。池袋駅東口まで万灯行列が出て、沿道は非常に賑やかになります。

御会式と共に、この辺りのマスコットの存在として親しまれているのが、「すすきみみずく」と呼ばれる民芸品です。名を体で表したこのおもちゃは、「子持ちみみずく」とも呼ばれていたそうで、子育てのお守りや、盗難除けのお守りとして親しまれていたそうです。

天保7年(1836)に刊行された江戸のガイドブック『江戸名所図会』には、寛延2年(1749)に考案されたという「麦藁細工角兵衛獅子」が紹介されています。角兵衛獅子とは、獅子頭を被り、曲芸を行う巡業芸人の一種です。挿絵には、角兵衛獅子と共に、すすきみみずくの姿も確認できます。このことから、少なくとも19世紀前半までには、みみずくも名物として親しまれていたことが分かります。

みみずく作りには熟練の職人技が必要で、後継者不足により製造が難しくなった時期もありました。しかし、地元の方々や鬼子母神の住職によって「雑司が谷すすきみみずく保存会」が結成され、現在まですすきみみずくの製造が継承されています。

目白駅から通学路を歩いていると、窓辺にすすきみみずくを飾っていらっしゃるお家を見付けました。道行く人々を見守るような優しい目に、思わず惹き込まれます。お気に入りのみみずくを探しに、鬼子母神へ来ない？そう呼びかけられている気がしました。



人間社会研究科 相関文化論専攻 博士課程後期3年

研究分野	文化人類学、民俗学 日本におけるお祭りの社会的役割について
保有資格	博物館学芸員
サポート例	履修や研究の進め方、参考文献の集め方、 レポートや研究計画書の書き方、 フィールドワークの進め方、学芸員資格について

小さなことでも不安をサポートします！ お気軽にお声がけください。



ラーニング・サポーターのつぶやき (2026年10月)
 ホームページ https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html
 編集: JWU ラーニング・コモンズさくら